

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「フィリピン」

第22号(2011年8月17日)

2回目の大使館訪問

フィリピンの基本情報

フィリピンは、7,109もの島々からなる島国です。台湾の南部からボルネオ島の北部に伸びる細長い島国で、周辺を海に囲まれています。フィリピンには100以上の様々な民族があり、海外からの影響を受けて独自の文化を形成してきました。フィリピンにはフィリピン語と英語の2つの公用語があります。国語はフィリピン語ですが英語も幅広く使われており、英語を公用語とする国では世界第3位の大きさです。フィリピンの気候は熱帯性気候で雨季と乾季があり、マニラの年間平均気温は27℃と非常に高いです。

首都： マニラ
面積： 299,404Km²（日本の約8割）
人口： 9,401万人（2010年推定値、フィリピン国勢調査）
言語： フィリピン語、英語
宗教： カトリック83%、その他のキリスト教10%、その他7%
通貨： ペソ（1ペソ=約1.8円、2011年7月末現在）
一人あたりGDP： 2,007ドル（2010年）
GDP成長率： 7.3%（2010年）
主要産業： 農林水産業



出所：フィリピン共和国政府、外務省、IMF、データストリーム

大使館情報

正式名称： フィリピン大使館
所在地： 東京都港区六本木5-15-5



商務部 山家様

フィリピン大使館への訪問は、今回で2回目となります。
前回訪問（2009年8月）から約2年が経過し、フィリピンの直近の状況について、商務部の山家様からわかりやすく教えていただきました。山家様は、約30年にわたり様々な貿易業務に携わった後、10年前からフィリピン大使館商務部にて、フィリピンへの投資及び貿易の促進等に関わる業務に従事されています。

(2011年8月10日に訪問)

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



フィリピン経済の概況

2010年6月、ベニグノ・アキノ3世大統領が就任しました。アキノ大統領は、インフラ整備、雇用創出、徴税強化と財政再建、教育の充実、ビジネス環境整備と外資の導入、農業政策、海外出稼ぎ労働者の保護などを重要政策として掲げています。

フィリピンの財政状況は、2003年以降健全化へ向けて改善していましたが、2008年の世界的な金融危機後の財政出動により一時的にスローダウンしました。しかしながら、徴税の強化や歳入の徹底的な見直しを行うことで、前政権からの課題であった財政問題は、2010年以降、再び改善へ向け動き始めています。

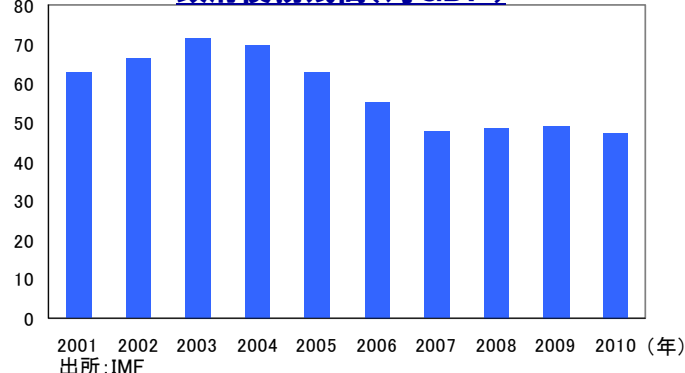
世界的な金融危機の影響を受け、2009年、アジア諸国ではマイナス成長となった国も出ましたが、フィリピンの同年のGDP成長率は前年比1.1%と底堅く、比較的堅調でした。また、2010年のGDP成長率は、世界的な景気回復による工業生産の回復が輸出増加をもたらし、前年比7.3%と1980年代以降で最も高い成長率となりました。

2011年4月のIMF予想によると、2011年も同国の経済成長は、5%前後の成長が予想されており、持続的な高い成長が期待されています。

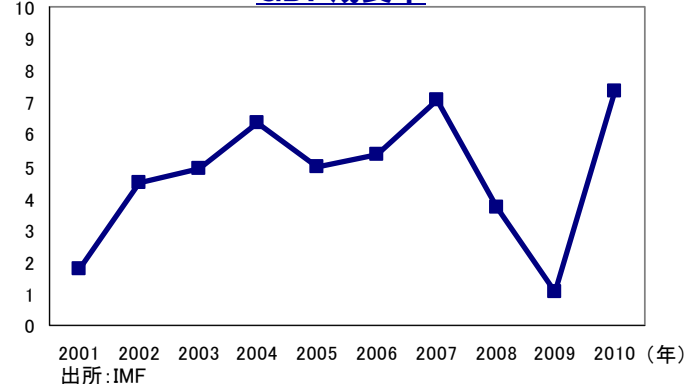
同国の社会経済の更なる安定のためには、現政権でも重要政策として掲げている、格差是正や雇用創出が求められます。

同国の失業率は、過去10年間で大きく低下していますが、今後も更なる改善が期待されます。

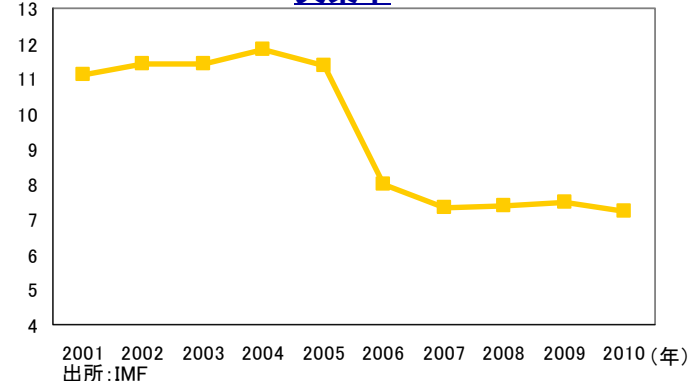
政府債務残高(対GDP)



GDP成長率



失業率



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『この国どんな国？』



各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。

今回ご紹介する国は
「フィリピン」

フィリピン経済の強み

フィリピン経済の強みはいくつかありますが、主なものとしては、“豊富な労働人口” “安価な労働賃金”そして“英語を公用語とする人材”があります。

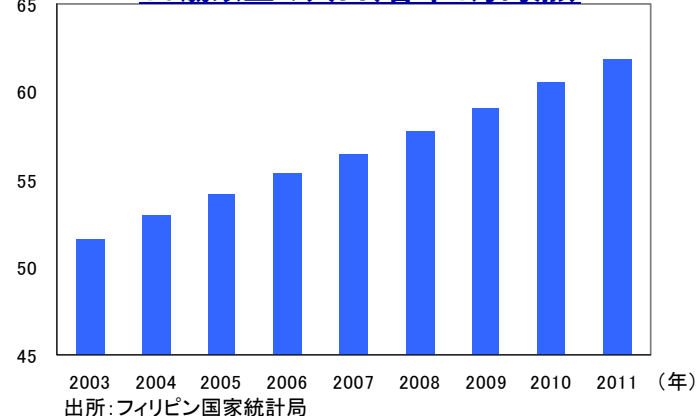
フィリピンの労働人口（15歳以上の人口）は、年々増加し2011年4月時点で約6,200万人となっています。前号でもご紹介の通り、海外在住労働者からの送金が、フィリピン経済の一翼を担っていることは有名です。しかし、フィリピン国内の産業を見ても、豊富な労働人口と他のアジア諸国と比べ賃金が安価であることなどから、日本企業も多数進出しています。

主力の輸出品である電子・電気機器や輸送用機器などを製造する日本の大企業の進出は、その多くが2000年前後までに完了しているようですが、最近ではアニメなどのコンテンツビジネスやコールセンターなどのBPOサービス等のソフト・サービス産業の進出も盛んになっています。

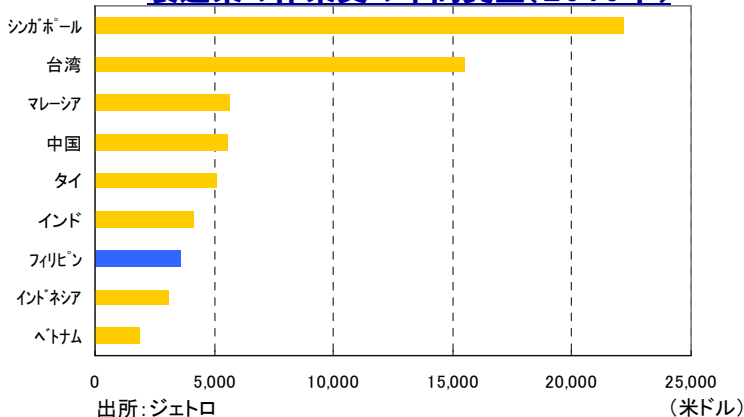
もちろん、こうした動きを加速させるのは、単に安価で豊富な労働力があるからだけではありません。その大きな要因の一つが、公用語が英語であることであり、これが他のアジア諸国と比べ、同国の強みになっています。

最近では、日本や他のアジア諸国からの英語研修のための留学生の受け入れが大きな産業になっています。費用面では、一般的に欧米豪への英語留学に比べ、1時間当たり1/4～1/5程度のレッスン料で済むため、日本でも人気が出ているようです。

(100万人) 15歳以上の人口(各年4月時点)



製造業の作業員の年間賃金(2010年)



英会話レッスン料の比較(イメージ)

	マンツーマン	グループ
フィリピンへの英語留学	約800円	約300円
欧米豪への英語留学	約4,000円	約1,500円
日本の英会話スクール	約8,000円	約3,500円

出所: 各種資料よりスパークス・アセット・マネジメントが作成

本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

『この国どんな国？』



今回ご紹介する国は
「フィリピン」

各国の駐日大使館や関係機関を訪問して、
様々な国の本当の姿をお届けします。



フィリピンの食文化

前号では、フィリピンの有名なデザート“ハロハロ”をご紹介いたしました。今回はもう少し詳しくフィリピンの食文化を見てみたいと思います。

フィリピン料理は、特にスペインや中国の影響を大きく受けていますが、その他多くの国の料理がミックスされた多国籍な料理ということもできます。

フィリピン料理の特徴は、海産物や豚肉、鶏肉などの素材をそのまま素焼きにしたり、油で揚げたり、酸味を活かしてスープにするなど、素朴な家庭料理が特徴です。また、ココナツ、パティス（魚醤）を味付けに利用したものも多く、醤油を使うなど日本の食文化が取り入れられたものもあります。

フィリピン料理

魚の素焼き



酸味を活かしたスープ



フィリピンのスイーツ

スイーツは、ご存知“ハロハロ”が有名ですが、その他にも甘いプリン“レチェ・フラン”やカキ氷にトウモロコシを入れた“マイス・コン・イエロ”、また米粉やもち米で作った菓子“カカニン”などがあります。飲み物はアイ스티ーが代表的ですが、最近では日本でもおなじみの海外のコーヒー専門店が進出し、フィリピンでも人気のようです。

レチェ・フラン



マイス・コン・イエロ



出所：ジェットロ

訪問を終えて

2009年以来、約2年ぶりにフィリピン大使館へ訪問させていただきました。当時は世界的金融危機が色濃く残っていた最中でしたが、他のアジア諸国と比べ、フィリピンの経済は比較的底堅いというのが印象でした。その後同国では、昨年新政権が誕生したことで、経済、財政、また社会情勢など、様々な面でより安定感が増してきていることを感じました。今後も同国の強みを活かした、持続的な経済成長に期待したいと思います。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。